

Annual Report 2006
医療法人社団 安藤眼科医院

<http://www.andoganka.com>

andoeye@yf7.so-net.ne.jp

安藤眼科医院：安藤 展代

〒258-0003

神奈川県足柄上郡松田町松田惣領 995-1

TEL0465-83-4545

安藤眼科医院小田原クリニック：安藤 一郎

〒250-0816

神奈川県小田原市成田 168

TEL0465-38-0344

2006 年の終りに

今年もまた大勢の方々に助けられながら、1 年を過ごしてまいりました。多くの患者さんを紹介してくださった先生方、こちらの紹介を受けてくださった高次施設、指導に来てくださった先生方、見学を受け入れてくださった先生方と御施設の皆様、学会場で出会い、励まして下さった方々、多くの方々のご指導を受けました。そして良く見える顕微鏡、優れた手術機械のおかげで手術成績は向上し、トラブルも非常に少なくなりました。眼内レンズも各社がしのぎを削った結果、それぞれ特徴あるレンズがたくさんに開発され、それなりに選ぶ楽しみも増えました。進歩した検査機器はより正確なデータを提供してくれますので、診断や治療に以前より自信がつくようになりました。これらの製品の開発や宣伝、販売に努力しておられるかたがたを私はとても尊敬しています。そして“くすりばこ”の皆様、患者さんとの間に立つてとても面倒なことも多いでしょうに、いつも親切に私どもの不備を補ってくださって、何時もそこにいてくれる“頭脳”として私は頼りにさせていただいています。忘れられないのは麻酔科医古谷先生のご恩です。患者さんのハートモニターの音に一喜一憂したり焦ったりしていた昔に比べ、2 年余り飄々としてわれわれの患者さんに付き合ってください古谷先生の経験と落ち着きは、そのまま手術室の落ち着きに欠かせないものとなりました。

さて、数年前から著名な先生方のたぐい稀なご指導をいただいたおかげで、最近安藤一郎の硝子体手術はかなり充実したものになってまいりました。また去年からは涙道の手術にも興味を持って準備を始め、先ごろついに DCR まで行き着きました。今までの当院の手術は白内障手術を中心としてシステムを考え、構築してきたわけですが、そこに硝子体手術、涙道手術を加えるとなると、それなりの違う考え方も必要になってくると思いました。そこで今年 6 月から手術室の運営、小田原クリニックの運営を安藤一郎に任せることにいたしました。スタッフも松田グループと小田原グループとに分け、より緊密なチームワークができるように考えました。一郎は大変真剣に取り組み、かなりの成果を上げてきました。もちろんこれはスタッフの多大な協力と犠牲の上に成り立っていることは言うまでもありません。そのことをあらためて考え、お礼を申し上げたいと思います。新しく覚えなければならぬ仕事に戸惑い、疑問を感じながらも追い立てられる人もいたでしょうし、不満を募らせた方もたくさんおられたと思います。結果としては白内障手術の効率は良くなり、手術時間の短縮もでき、硝子体手術を安心して行える雰囲気とか、涙道手術を入れる時間ができ、眼瞼の手術を増やすこともできました。これは手術に直接携わった手術室にいた人たちだけではなく、しっかりと病室(手術前後)の管理をくださった方々の能力の高さと忍耐、事務処理を円滑にしてくれた人たちの努力、正確なデータを目指してがんばってくれた検査係の力が高く評価されなければなりません。さらに急激なシフトの変更を補うために右往左往した松田グループの混乱や、にもかかわらず耐えて埋め合わせに奔走してくださったことを忘れることはできません。当院は沢山の手術をする眼科として誇りと喜びを持ち、また地域に対する責任を感じながら今までやってまいりましたが、これからもその路線は変わることなく、工夫を重ね、より良い医療を目指してゆこうと思います。

一方、手術を主とする小田原クリニックの重要性もさることながら、3 分の 2 以上の患者さんの出発点となり、通過点となり、着地点となる松田の外来は非常に重要です。手狭で混雑しているところで長い待ち時間を過ごしている患者さんには非常にお気の毒ですし、それでもなお当院を頼りにしてくださる方々に、もう少し良い環境をご提供したいと思う毎日です。すれ違うのも大変な中で、一生懸命対応に追われているスタッフの皆さんは、その重要性を理解して、非常に

がんばってくださっています。患者さんはいつも親切にしてくれる、慣れたスタッフがいるというのを頼りに通ってくださることが多いし、正確な検査データを出すことは大勢の患者さんにとって診断、治療の重要なポイントです。

私は良いスタッフの恵まれ、楽しく仕事ができることをとてもうれしく思い、また来年もみな元気で良い診療をしてゆきたいと思います。

どうぞ皆様よろしく願いいたします。

12月22日

安藤 展代

2006年の思い出

3月11日	むらかみ眼科 村上茂樹先生 当施設ご見学 (松田本院・小田原クリニック)
5月20日	新人歓迎会 ダイナシティ4階 『大珍楼』にて
7月13日	ファイザー(株)様 手術ご見学
8月22日	キャノンスター(株)様 手術ご見学
9月11日～21日	紅白饅頭配布：80歳以上の来院患者様に長寿のお祝いのお饅頭を配布
10月9日	手術患者様の抱き人形が交代
11月9日	手術室ビデオ撮影 ファイザー(株)様 ネクスト(水井)様
11月22日～	職員健康診断
12月22日	忘年会『報徳会館』にて

学会・勉強会

1月20日	『点眼薬について』勉強会 参点製薬 新留様
1月27日～29日	日本眼科手術学会(東京) 安藤展代・安藤一郎・平井香織
2月9日～11日	角膜カンファランス(東京) 平井香織
2月18日～19日	Odaiba Basic Clinical Ophthalmology Series (東京) 安藤展代
3月4日	OCT ユーザーセミナー (東京) 安藤展代 井上拓巳
3月16日～25日	ASCRS(米国・サンフランシスコ) 安藤一郎
4月12日	住友病院手術見学(大阪) 安藤一郎
4月13日～16日	日本眼科学会(大阪) 安藤展代・安藤一郎・平井香織
4月14日	住友病院手術見学(大阪) 安藤一郎
5月13日	神奈川眼科 DM カンファランス(横浜) 安藤一郎
6月16日～18日	日本眼内レンズ屈折手術学会(東京) 安藤展代・安藤一郎・平井香織・井上拓巳 柳下和美・松岡直美・松山さやか・加藤晃仁
6月16日	キャノンユーザーズミーティングで講演 安藤展代
6月18日	硝子体手術ビデオセミナー (東京) 安藤一郎
6月23日	勉強会 参点製薬 新留様
7月14日～15日	鈴木眼科手術見学 安藤一郎
7月29日	眼科 PDT 講習会出席 (東京) 平井香織

8月3日～8月5日	CAOS の会 安藤展代・安藤一郎
9月8日～18日	ESCRS（英国・ロンドン） 安藤展代
9月27日	鈴木眼科手術見学 安藤一郎 柳下和美 松山さやか
10月5日～8日	日本臨床眼科学会（京都） 安藤展代・安藤一郎・平井香織・櫻谷みずき 田部雅美・近藤景子・高橋京子・反保宏信
10月14日	横浜ゾンタクラブで講演 目のお話色々 安藤展代
11月9日～16日	AAO（米国・ラスベガス） 平井香織
11月10日～11日	永田眼科見学（奈良） 加藤晃仁・佐藤絵美・川畑琴代
11月25日～26日	ニデックエキシマレーザーセミナー（箱根） 安藤展代
11月30日～12月2日	永田眼科見学（奈良） 山口恵子・工藤可奈・鈴木智子
12月1日～3日	日本網膜硝子体学会（東京） 安藤一郎
12月2日	杉田眼科増築見学 安藤展代・井上拓巳・加藤晃仁
12月8日	東邦大学大橋病院手術見学 安藤一郎
12月9日	2006年緑内障手術講習会（奈良） 安藤展代
12月13日～14日	杉本眼科見学 安藤一郎・反保宏信

手術関連

2月16日	手術システムにつき御指導 ケン・フォックス成田憲雄様
3月23日	極小切開白内障手術スタート（インフィニティ）
3月28日	極小切開白内障手術スタート（ソブリン）
5月31日	杏林大学 樋田教授 硝子体手術及び外来
10月24日	インフィニティ OZIL システム試用
11月1日	LASIK キャンペーン開始
11月4日	鈴木眼科医院 鈴木先生 DCR2 件
11月20日	ソブリンバージョンアップ ICE・CASE 導入

医師会・眼科医会

1月14日	足柄上医師会新年会『報徳会館』 安藤展代
3月6日	足柄上医師会 学術委員会 『きらく』にて 安藤一郎
3月8日	松田町講演会 『健康福祉センター』にて 安藤展代
3月30日	神奈川県眼科医会中央保健懇話会（横浜） 安藤展代・安藤一郎・加藤晃仁
4月19日～6月20日	眼科学学校検診 安藤展代：大井町 安藤一郎：松田町 中井町 吉田島農林高校 平井香織：大井町
5月23日	東海大学病診連携会世話人会（厚木）：安藤展代
6月1日	足柄上病院病診連携懇親会：安藤展代

6 月 30 日	足柄上医師会定時総会：安藤展代
7 月 14 日	福利厚生委員会：安藤展代
9 月 21 日	学校医・保育園医部会：安藤一郎
9 月 24 日	休日急患診療所当番：安藤一郎
9 月 30 日	湘西眼科医会健保懇話会（厚木）：安藤展代
10 月 19 日	大井町就学時健康診断：平井香織
11 月 15 日	大井高校眼科講話：安藤展代

改装・修理

1 月 14 日	小田原クリニック 倉庫設置工事 (株)ワコーコーポレーション様
2 月 10 日～12 日	小田原クリニック玄関補修工事 (株)ワコーコーポレーション様
2 月 28 日	小田原クリニック第 2 駐車場閉鎖
3 月 6 日	新第 2 駐車場利用開始
3 月 23 日・30 日	松田本院 下水道工事
5 月 15 日～18 日	松田 2 階拡幅工事 (株)ワコーコーポレーション様
5 月 17 日	小田原クリニック 手術室自動ドア工事・エアコン点検 (株)ワコーコーポレーション様
5 月 18 日	松田本院前駐車場 電柱撤去・電線工事
6 月 29 日	松田本院 カルテラック設置工事 (有)アスク様
7 月 3 日～8 月 31 日	松田本院前 県道拡幅工事
9 月 16 日	松田本院電気工事 (株)ワコーコーポレーション様

新設器械

2 月	ファイバーテック『3CCD イメージングシステム “FT-203F” 』
3 月	トーマー『超音波画像診断装置 A/B モード ” UD-6000” 』
8 月	カネカメディックス『鼻内視鏡 EN-7530” 』
11 月	AMO『ソブリン WHITESTAR バージョンアップ Ver. 2. 01』
12 月	アルコン『インフィニティ アップグレード Ver. 2. 01』 『ペンタカム』試用 ツァイス『IOL マスター』（2 台目）

発明

Ichiro and Wako 式角板『まぶたひとり』

Ichiro and Wako 式拡大鏡付照明装置『クリアビジョン』

2006 年皆勤賞 無遅刻・無欠勤・無早退の方々です。拍手！

金田浩子 甲斐智美 近藤景子 木村智嘉 野地真弓 野崎友希 小寺弥生

2006 年に行われた手術（眼数）（％は対前年比）

保険診療分合計	2756	122%
水晶体再建術	2259	115%
緑内障手術	61	139%
硝子体手術	98	120%
その他内眼	11	
翼状片手術	61	153%
眼瞼手術	187	208%
霰粒腫手術	36	100%
涙道	37	
PTK	5	45%
LRI	49	148%
その他外眼	1	
自由診療分合計	157	109%
フェイキック IOL	15	500%
LASIK	77	75%
PRK	4	
エンハンス	12	240%
総合計	2913	121%

ひとみすっきり号（無料送迎車）の動き

平成 15 年 9 月 15 日～平成 16 年 12 月 31 日までに『ひとみすっきり号』を利用した患者様

1871 人（延べ患者様数） 月平均 117 人

平成 17 年 1 月 5 日～12 月 17 日までに『ひとみすっきり号』を利用した患者様

1695 人（延べ患者様数） 月平均 141 人

平成 18 年 1 月 4 日～12 月 5 日までに『ひとみすっきり号』を利用した患者様

2225 人（延べ患者様数） 月平均 185 人

主な送迎場所

- ・安藤眼科医院松田本院～安藤眼科医院小田原クリニック
- ・足柄上郡松田町寄地区
- ・足柄上郡山北町中川地区・清水地区

ほか小田原市・松田町・山北町・大井町・開成町・中井町全域

入職者 がんばって下さい。

松岡直美（看護師）	平成 18 年 1 月 10 日入職
松山さやか（看護師）	平成 18 年 4 月 10 日入職
反保宏信（視能訓練士）	平成 18 年 4 月 17 日入職
常盤香苗（臨床検査技師）	平成 18 年 5 月 8 日入職
波多野麻里亜（受付・事務）	平成 18 年 8 月 21 日入職
櫻谷みずき（小田原事務長）	平成 18 年 9 月 5 日入職

研修中

福田祐子（検査）	平成 18 年 10 月 10 日入職
岡部いづみ（受付・事務）	平成 18 年 12 月 4 日入職
西山弥可（検査）	平成 18 年 12 月 4 日入職
岩永弘己（手術室）	平成 18 年 12 月 4 日入職

退職者 ごくろう様でした。

原理恵子さん 柿原 愛さん 木戸朋美さん 青木理沙さん 高橋美香さん
加藤理恵さん 小野優子さん

2006 年をふりかえって

2006 年を振り返りましてまずご報告しなければならないことは、6 月からの眼科の体制の大きな変化だと思います。眼科のスタッフを半分の人数にわけ、それらを松田本院と小田原クリニックのそれぞれに所属させ、現理事長が松田本院を、私が小田原クリニックのすべてのマネジメントを直接管理運営することになりました。

そこで、私がまず始めに行ったのは、月に 1 回の半分の人数ずつでのディナーミーティングと、給料日前の毎月 1 回の全員とのメールのやり取りでした。これらは当初私が予想していた以上の効果があり、ふだんあまり話をすることがなく、ともするとそれぞれでまともになってしまう傾向があった、看護師、視能訓練士、事務、検査、手術室担当が、そのグループの枠を超えてコミュニケーションをとることができるようになりました。月に 1 回のメールでは、通常の連絡事項以外にも、メールで交換した普段の生活の近況報告などから、眼科以外の生活をどのように送っているのかをお互いに知ることにより、より気持ちが通じ合えたと感じられました。

次にめざしたのは、手術室の効率化でした。今までは、一部のスタッフのみが、すべての手術の助手ができたり、片付けができていたりしていました。それはそれで精鋭のスタッフのみによる「阿吽の呼吸」ですばらしい結果を出せていたと思います。しかし、手術件数が増えたうえ、時に緊急対応を迫られる硝子体手術を本格的に導入してきた状況では、その治療体制としては不十分で、ある見方をすれば危険でもありました。そこで、勤続年数や、なんとなく存在してしまっていた仕事の分担などにとらわれることなく、できる人にはできることにどんどん携わっていただき、複数の人が同じことを交代しながら取り組めるように教育を進めてきました。その結果、休日以外は公平に回ってくる残り当番をあらかじめ決めることができ、網膜剥離などの緊急の手術に対

して、ほぼ当日中に、時間の制限無く対応することができるようになったのです。

また、白内障手術においては、読書灯を改造して利用するなどし、直接介助の看護師の役割をさらに拡充し、スタッフの動きを一部変更、入れ替えるなどして、単位時間あたりの手術件数を増加させることができました。すなわち、いままでは医師2人で同時に2部屋で手術をすると、時間あたり6件行うことは非常に無理がかかり問題が多かったものを、医師1人が2部屋を使う方法で、スタッフの人数を増やすことなく時間当たり6件を行うことが十分可能となったのです。

ところで、昨年までは、「涙が流れる」といった患者様に対して、それが涙道閉塞を原因としている場合は、十分な対応を取れていなかった部分がありました。今年はそういった涙道疾患に対しての治療内容を充実させようと、いくつかの施設にお邪魔し、たくさんのことを学ぶことができました。2月には横浜市菊名の湯田兼次先生、4月には大阪市住友病院の原吉幸先生、7月には北九州市小倉の鈴木亨先生、8月にはCAOSの会の手術見学で宮久保純子先生と栗橋克昭先生、11月には東邦大学大橋病院の矢部比呂夫先生、12月には岡山県の杉本学先生にそれぞれ手術や外来を見学させていただきました。あまり面識のない私に対しても、惜しみなく親切に教えていただき、それぞれの先生方には大変感謝しているところです。中でも特に鈴木先生のご指導のもとに、5月から開始した内視鏡を使ったDSI（涙管チューブ挿入術）は約半年で40例ほどになり、その中でどうしても治癒させることができなかった2例について、11月4日には先生に北九州よりお越しいただいてDCR鼻外法（涙嚢鼻腔吻合術）を施行していただくことができました。この準備のために、看護師をつれて往復9時間の日帰りの手術見学や、休日返上でDSIを施行したり、スタッフにも学会に出席してもらい精力的に涙道の講座を聴講してもらうなど、新しくまとまったスタッフ全員の結束があったからこそできたことであつたと思います。

来年は、私たちのチームワークの良さを最大限利用して、内視鏡を使ったDCR鼻内法の導入、滅菌業務のより効率的な運用、両医院間の予約システムの改善、加齢黄斑変性症に対する光線力学療法(PDT)と併用する薬物療法の導入、手術中の不測の事態への対応の強化、より患者さんが安心して手術にのぞめるためのさまざまな工夫、新しい治療方法の導入についてのホームページを利用した紹介などを中心に進めていきたいと思います。

来年も近隣の先生方にはもちろん、薬局、医療機関、関係業者様にはますますお世話になることと思いますが、今年と同様変わらぬご支援、ご鞭撻をよろしくお願い申し上げます。

小田原クリニック院長 安藤一郎

スタッフ

常勤医： 安藤展代 安藤一郎 平井香織

看護師： 井上拓己 伊東淳子 柳下和美 松岡直美 松山さやか 北村幸子 金田浩子
甲斐智美

検査： 鈴木智子 田部雅美 高橋京子 近藤景子 内藤千英 千田元子 木村智嘉
反保宏信 常盤香苗

事務： 佐藤絵美 加藤晃仁 川畑琴代 野地真弓 大塚寛子 上原 薫
山口恵子 野崎友希 工藤可奈 飯山百合子 角津知佳 水戸那奈 小林里奈
波多野麻里亜 櫻谷みずき 小寺弥生 加藤明子

ドライバー： 瀬戸厚夫 手塚 宏 府川文彦

研修中： 福田祐子 岡部いづみ 西山弥可 岩永弘己